



東北地域の和食文化メールマガジン

令和6年10月30日（水）第66号



【目次】

1. 農林水産省 10月、11月は「食から日本を考える。月間」
2. 農林水産省 11月は「和ごはん月間」、11月24日は「和食の日」
3. 東北農政局後援 「ビジネスマッチ東北2024」の開催
4. 農林水産省 令和6年度（第63回）農林水産祭天皇杯の選賞について
5. 日本醤油協会 「第51回全国醤油品評会」受賞者の発表
6. 国税庁 福島県南会津町の酒がGI登録されました
7. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 10月号

=====

1. 農林水産省 10月、11月は「食から日本を考える。月間」

=====

農林水産省は、食と農を取り巻く課題を身近なものとして考えてもらうための国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

消費者が「食」や「農」に触れ、考えていただく機会づくりのため、10月、11月を「食から日本を考える。月間」とし、10月1日から、期間中に全国で開催される「食」関連の体験やイベント情報をニッポンフードシフト公式WEBサイトで発信しています。

【農林水産省HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/241001.html>

【外部リンク】消費者向け体験・イベント情報ははこちらから→

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/app/event/>

=====

2. 農林水産省 11月は「和ごはん月間」、11月24日は「和食の日」

=====

「和食の日（11月24日）」を含む11月は、官民協働「Let's！和ごはんプロジェクト」の集中活動月間である「和ごはん月間」です。

「Let's！和ごはんプロジェクト」では、味覚の形成期にあたる子どもたちとその親世代が身近・手軽に和食を食べる機会を増やしてもらうため、企業等の新たな商品やサービスの開発・販売、子ども向けメニューの展開等を促進しています。「和食の日（11月24日）」を含む11月の「和ごはん月間」にプロジェクトメンバー間の連携企画、各種イベント等を重点的に実施します。

このプロジェクトを通じ、子どもたちとその親世代へ、和食の味や食べ方を体験する機会を増やし、ユネスコ無形文化遺産である和食文化が保護され、次世代へ継承されることを目指します。

【農林水産省HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/241030.html>

=====

3. 東北農政局後援 「ビジネスマッチ東北 2024」の開催

=====

東北最大級のビジネス展示・商談会である「ビジネスマッチ東北 2024」では「食と農」「情報・IT」など10のジャンルにより構成され、542の様々な産業界の企業・団体が一堂に集う東北最大級のビジネス展示会です。

全国から招聘する商社や小売店、百貨店等の有力バイヤーとの個別商談会が行なわれます。

東北農政局も「企業支援相談コーナー」に出展し、「食品企業支援政策等の紹介」をいたします。

日時：令和6年11月14日（木）10:00～17:00

場所：夢メッセみやぎ（仙台市宮城野区港三丁目 1-7）

（※来場者事前登録制）

【外部リンク】開催概要・事前来場登録はこちらから→

<https://www.bmtohoku.jp/>

=====

4. 農林水産省 令和6年度（第63回）農林水産祭天皇杯の選賞について

=====

農林水産省と日本農林漁業振興協会は、過去1年間の各表彰行事で農林水産大臣賞を受賞した463点の中から農林水産業の技術や経営発展の意欲を高めることを目的に天皇杯受賞者を発表しました。

東北から天皇杯には、

- ・園芸部門「JA会津よつば昭和かすみ草部会」（福島県昭和村）
- ・畜産部門「株式会社蔵王ファーム」（山形県南陽市）が受賞しました。

内閣総理大臣賞には、

- ・多角化経営部門「有限会社川口グリーンセンター」（宮城県栗原市）

むらづくり部門「中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会」（青森県中泊町）が受賞しました。

また、令和6年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」における東北ブロック農林水産大臣賞等受賞団体も発表されました。

農林水産大臣賞には、

- ・中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会（青森県中泊町）
- ・向黒沢集落（秋田県北秋田市）
- ・清流と山菜の里ほその村（福島県尾花沢市）が受賞しました。

東北農政局長賞には、

- ・農事組合法人一方井地区営農組合（岩手県岩手町）
- ・有限会社伊豆沼農産（宮城県登米市）
- ・おおたま村づくり株式会社（福島県大玉村）が受賞しました。

【農林水産省HP】「農林水産祭天皇杯等」詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsyo/241002.html>

【東北農政局 HP】「豊かなむらづくり全国表彰事業」詳細はこちらから→
<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/241002.html>

=====

5. 日本醤油協会 「第 51 回全国醤油品評会」受賞者の発表

=====

日本醤油協会主催による「第 51 回全国醤油品評会」受賞者の発表・表彰式が、9 月 27 日に行われました。

全国から 288 点が出品され、東北から 2 点の農林水産大臣賞のほか、5 点の農林水産大臣官房長賞、11 点の優秀賞を受賞しました。

東北の農林水産大臣賞受賞者は以下の 2 名です。

株式会社木村醤油店（山形県）「味の司」（こいくちしょうゆ）

合資会社山形屋商店（福島県）「ヤマブン本醸造特選醤油」（こいくちしょうゆ）

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.soyasauce.or.jp/news/132826>

=====

6. 国税庁 福島県南会津町の酒が GI 登録されました

=====

福島県南会津町の酒蔵が生産する日本酒（清酒）「南会津」が、8 月 30 日付けで国が保護する地域ブランド「地理的表示（GI）」として、国税庁から指定を受けました。

原料米の生産から醸造用水の採取、清酒の製造まで同一町内による指定は、「南会津」が全国初です。

全国での酒類の GI 登録は、清酒 17 件（うち東北は、山形県、岩手県、福島県南会津町）、ぶどう酒 5 件（うち東北は、山形県）、蒸留酒 5 件、その他（梅酒）1 件となっています。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/hyoji/chiri/ichiran.htm>

=====

7. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 10 月号

=====

農林水産省では毎月、Web マガジン「aff」を発行しています。

10 月号の特集は「知りたい JAS」です。

日本農林規格等に関する法律（JAS 法）は、最初の制定から 70 年以上、時々の社会やライフスタイル変化に合わせて改正を重ねてきました。

身の回りにある多様な JAS の世界を紹介しています。

【農林水産省 HP】「aff」10 月号はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2410/spe1_01.html#main_content

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL : 022-263-1111 (内 4570)

メールアドレス : keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>